

笑ってごらん

第 640 号 H. 30. 12. 10 発行

～今日の格言～

一流と言われる人には共通点がある。それは何か。
「素直な心」を大事にする。その一点なんや。

(松下幸之助)



先週、看護学科基礎課程 3 年生による臨地実習体験内容プレゼンテーションを参観した。

各生徒は臨地実習に向け目標や課題を持って臨み、自身の活動に反映されていたかどうか、また、気付いたことや学んだことを含めての発表だった。

日頃は見過ごしがちな点について疑問を持ち、自分で調べ、実践した結果を述べた生徒があった。ほんの小さなことであったが、とても大切な気付きであり、その視点の豊かさに驚いた。

また、「自分が学び得たことを皆にも知って欲しい」と発表に盛り込むことで学びの共有を図っている生徒もいた。

十人十色とはよく言ったもので、個々が考えた過程や手段、その表現方法は皆異なっている。それぞれに「良さ」を感じる場面があり、3 年生の成長を頼もしく、誇らしく思った。

職員室には生徒たちのポートフォリオが積まれていたので数人分開いてみると、その内容の濃さに驚いた。行動目標、気付き、振り返り・・・それぞれの持つ素晴らしい感性が光っていた。



中には「どうすることが正しいのかわからない」ために不安感を抱いている生徒がいるとも聞く。しかし、これまで培ってきた知識や経験を総動員して考えを深めることで、「こうすればいいんじゃないかな?」という自分なりの方針が生まれる。もちろん、細かな点においては修正を必要とするものもあろう。それらの作業を繰り返すことによって、どんな場面でも臨機応変に対応できる優秀な看護師に成長していくのだ。

私たちは「この問いに対する正しい答えはコレ」といった一問一答的な学習に慣れている。しかし、それだけの知識ではイレギュラーなことが生じた際に対応が遅れることになる。

「指示待ち」ではない、幅広い「人間力」を身に付けるためにも、自らに課題を持ち、考えを巡らせる習慣を心掛けよう。

答えは自分の中にある。

～．～．～．～．～．～

いよいよ来る 14 日(金)、本校同窓会白鳳会と鳳凰高等学校の合同芸術鑑賞会が行われる。

本校では久しぶりの大きなイベントとなるため、大変緊張しながら準備を進めてきた。

生徒のみならず同窓生も楽しみにしていることだろう。感動溢れる素晴らしい一日にしたい。

七日、知覧税務署から嶋田署長様を含め三名お見えになり、税の作文表彰式が行われた。今回の入賞者は以下の通り。

国税庁長官賞	田畑里緒 (三一九)
熊本国税局長賞	瀬戸理央奈 (三一九)
知覧税務署長賞	別府ほの美 (三一九)
知覧税務署長賞	本村真依 (三一四)
川辺地区租税教育推進協議会会長賞	嶺崎きよか (三一九)

最高賞である国税庁長官賞は全国で十二名受賞、熊本国税局長賞は熊本国税局管内で五名受賞。

特に、今回は国税庁長官賞と熊本国税局長賞のダブル受賞となり、学校としても初めての喜ばしい結果となった。

国税庁長官賞に輝いた田畑さんの作品『税から生まれる助け合い』は国税庁ホームページの「税の学習コーナー」に掲載されている。また、知覧税務署管内受賞者全員の作品は来年一月サンキュー加世田店に展示される予定。